

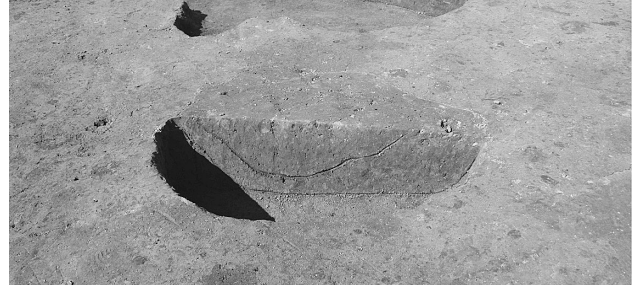
第112号土坑 土層 S→



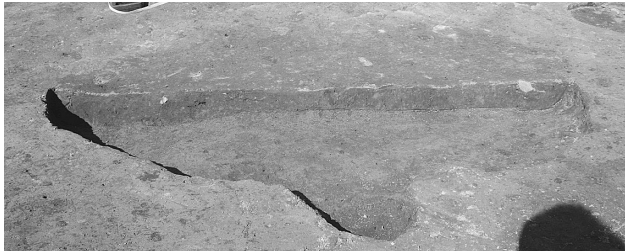
第113号土坑 土層 S→



第114号土坑 土層 N→



第115号土坑 土層 S→



第116号土坑 土層 S→



第117号土坑 礫・炭化材出土状況土 W→



第120号土坑 完掘 E→



第121号土坑 完掘 W→



第121号土坑 土層 S→



第125号土坑 礫出土状況 S→



第125号土坑 完掘 S→

图版34



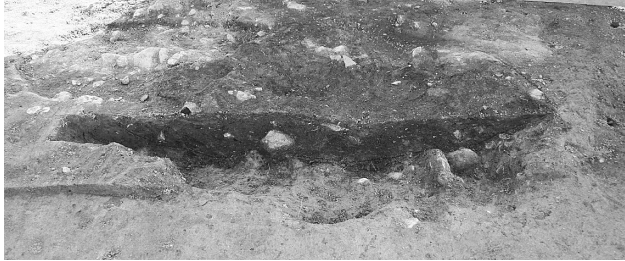
第140号土坑 土層

E→



A区第201号土坑 土層

W→



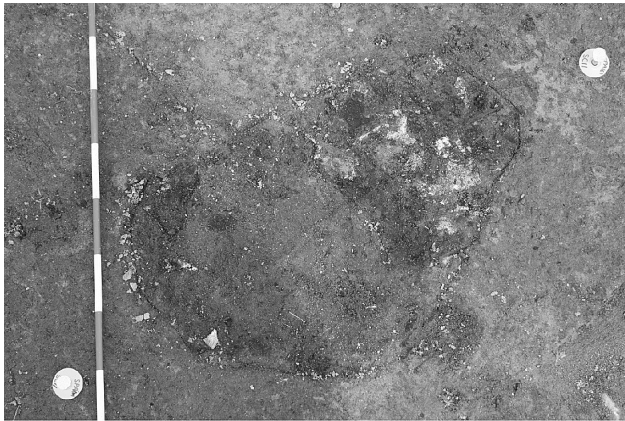
第1号火葬墓 (SC-4) 土層

N→



第1号火葬墓 (SC-4) 完掘

N→



A区第3号火葬墓(SC-11)炭化物・烧骨確認状況 S→



第20・21号溝跡合流部土層

E→



第29・30号溝跡 完掘

S→



第26号溝跡 土層

S→



第10号烧土遺構 確認

W→



第11号烧土遺構 土層

N→



第1号性格不明遺構 完掘 N→



第1号性格不明遺構 土層 N→



第1号炭化物集中遺構 土層 N→



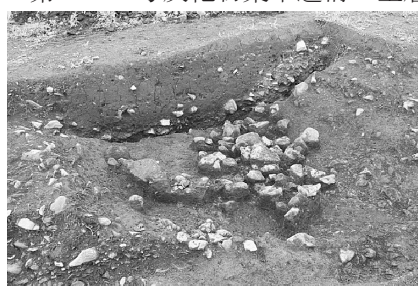
第2・3号炭化物集中遺構 土層 N→



第5号炭化物集中遺構 確認 N→



第100号土坑 完掘 E→



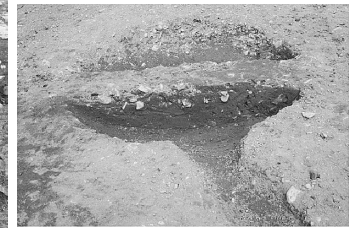
第102号土坑 礫出土状況 S→



第103号土坑 完掘 S→



第104号土坑 土層 S→



第106号土坑 土層 W→



第130号土坑 完掘 E→



第131号土坑 完掘 S→



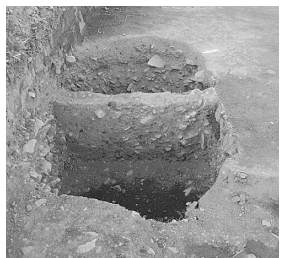
第133号土坑 完掘 S→



第136号土坑 土層 S→



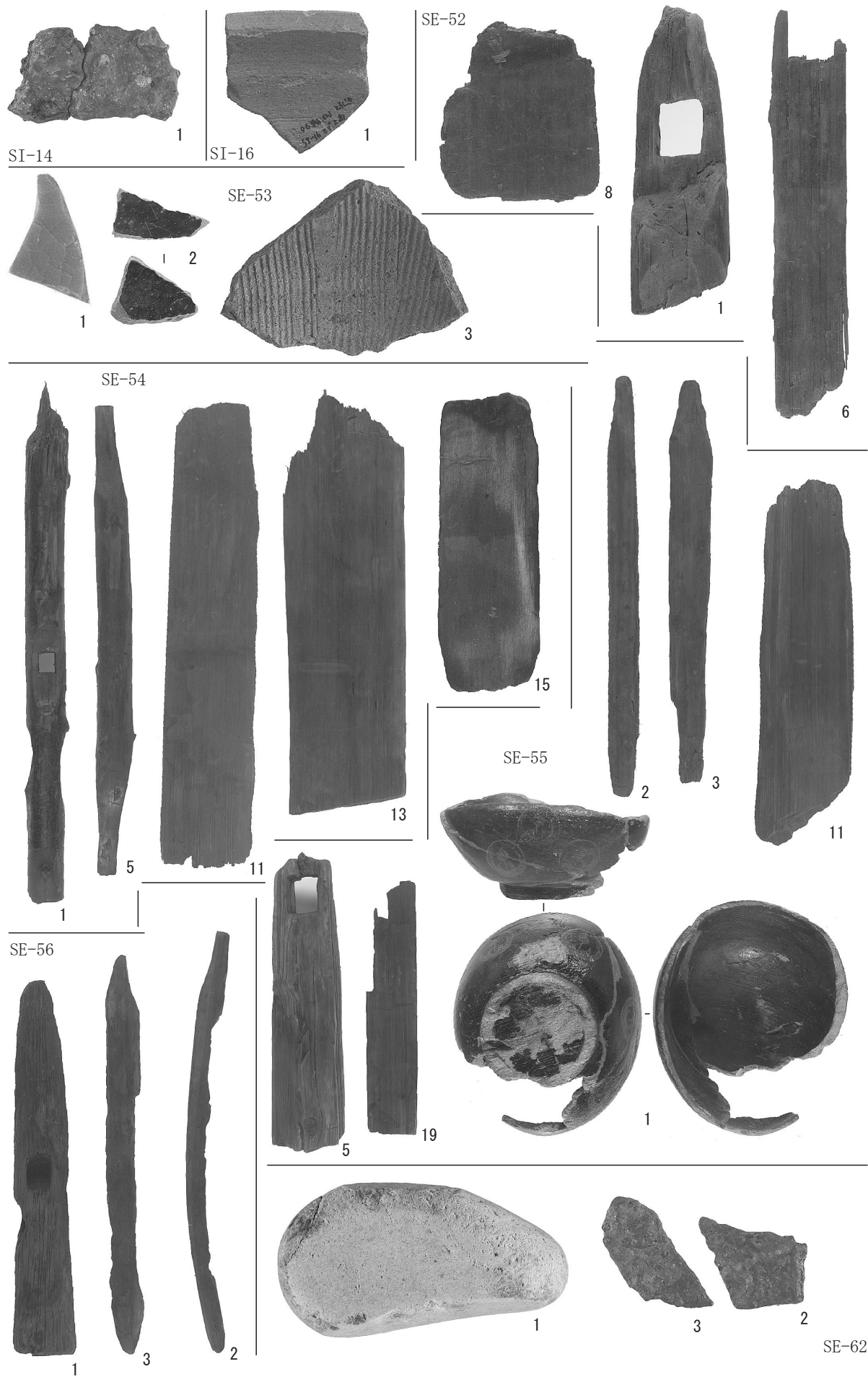
第141号土坑 土層 S→



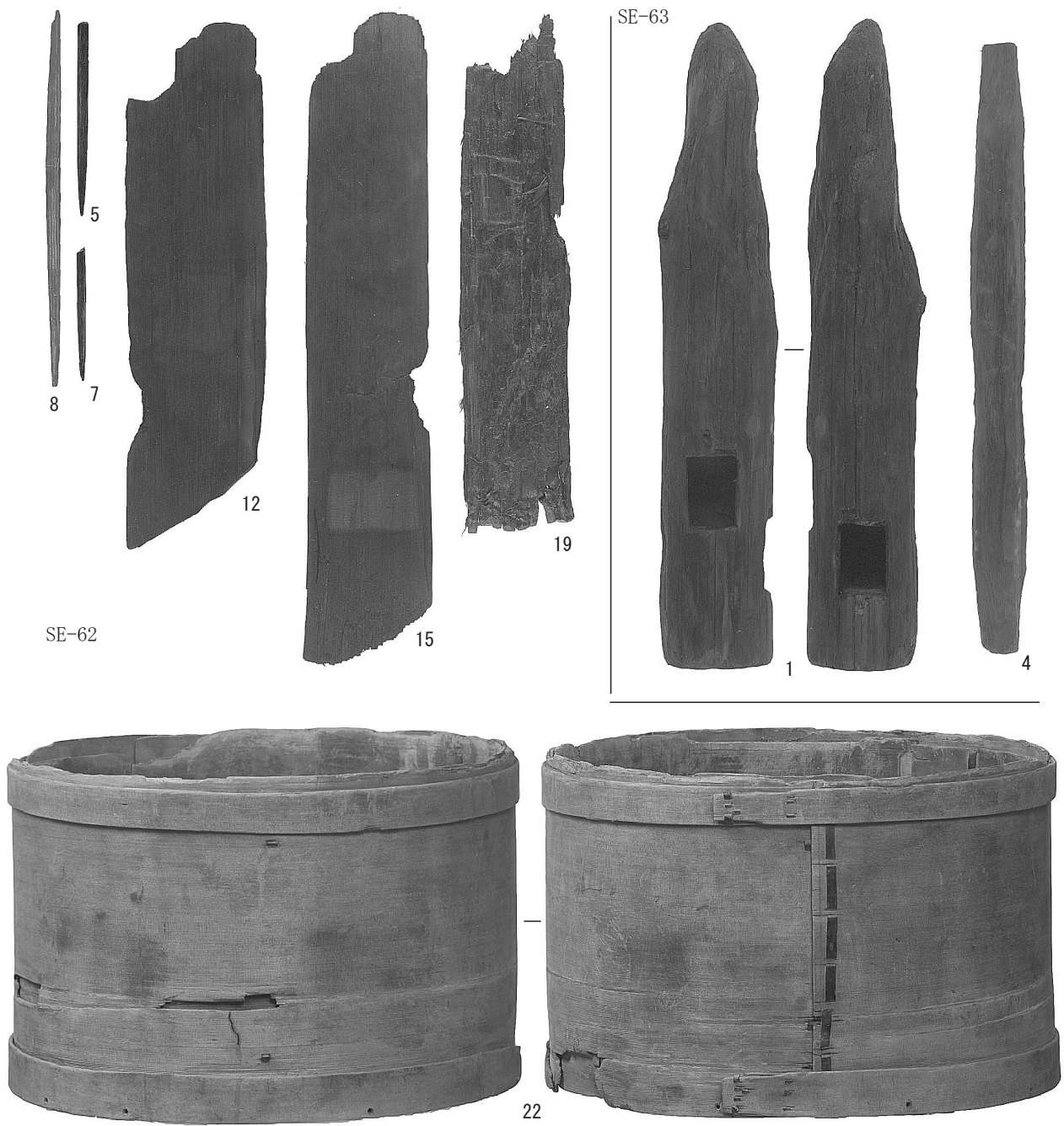
第149号土坑 土層 S→



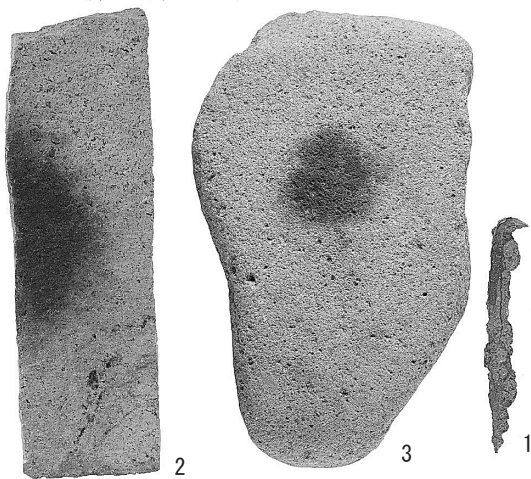
第148号土坑 土層 S→



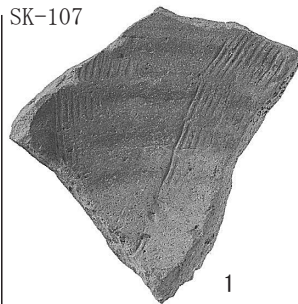
图版37



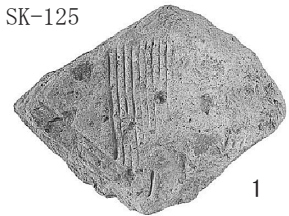
SK-123 (第64号井戸跡)



SK-107



SK-125



SK-119 (第2号土坑墓)



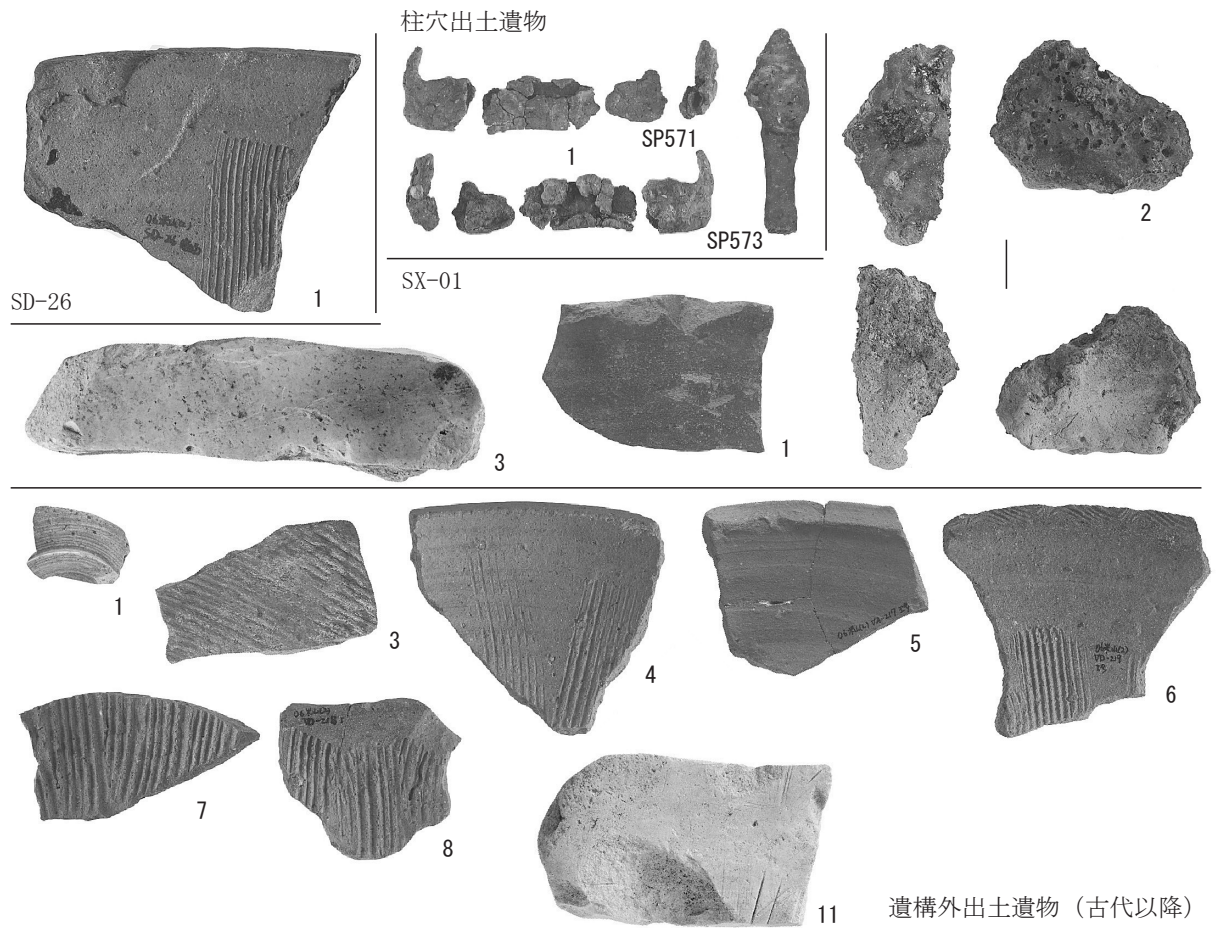


図6-3 体部文様の拡大写真 (縄文施文後沈線縁取り)

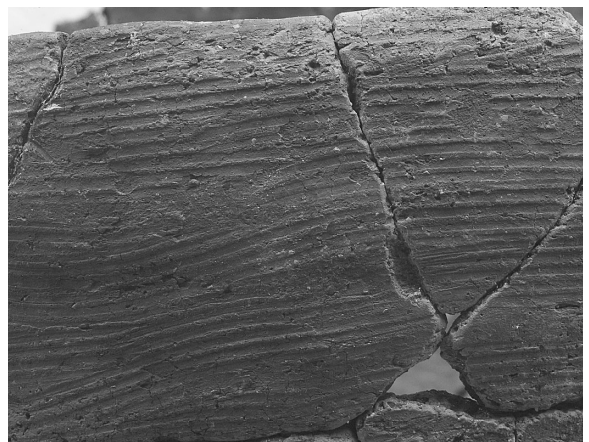


図9-1 体部整形痕の拡大写真 (横位条痕、原体は貝殻か?)



図24-60 体部整形痕の拡大写真 (横位のやや粗いミガキ)



図33-181 体部整形痕の拡大写真 (縦位の条痕、条痕間の幅が広い)

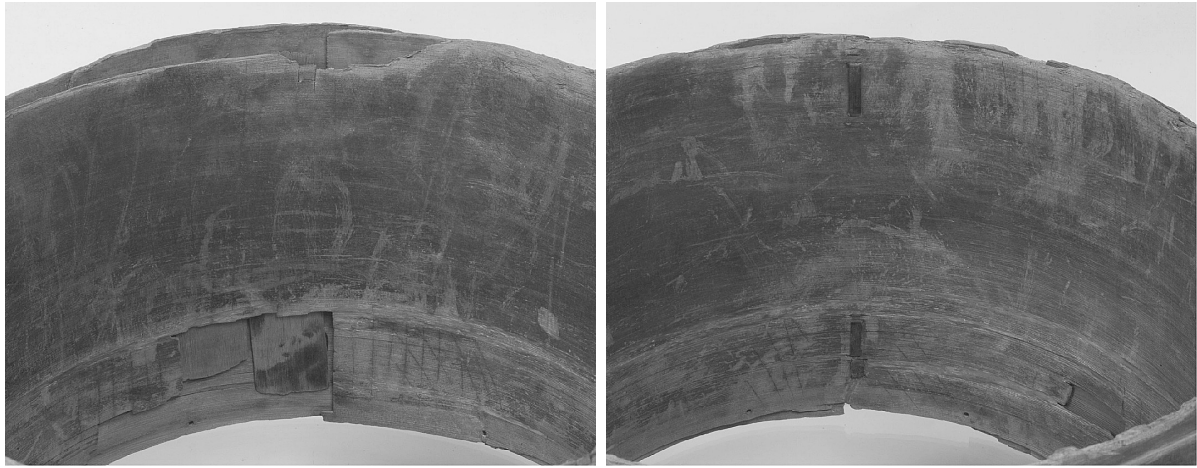
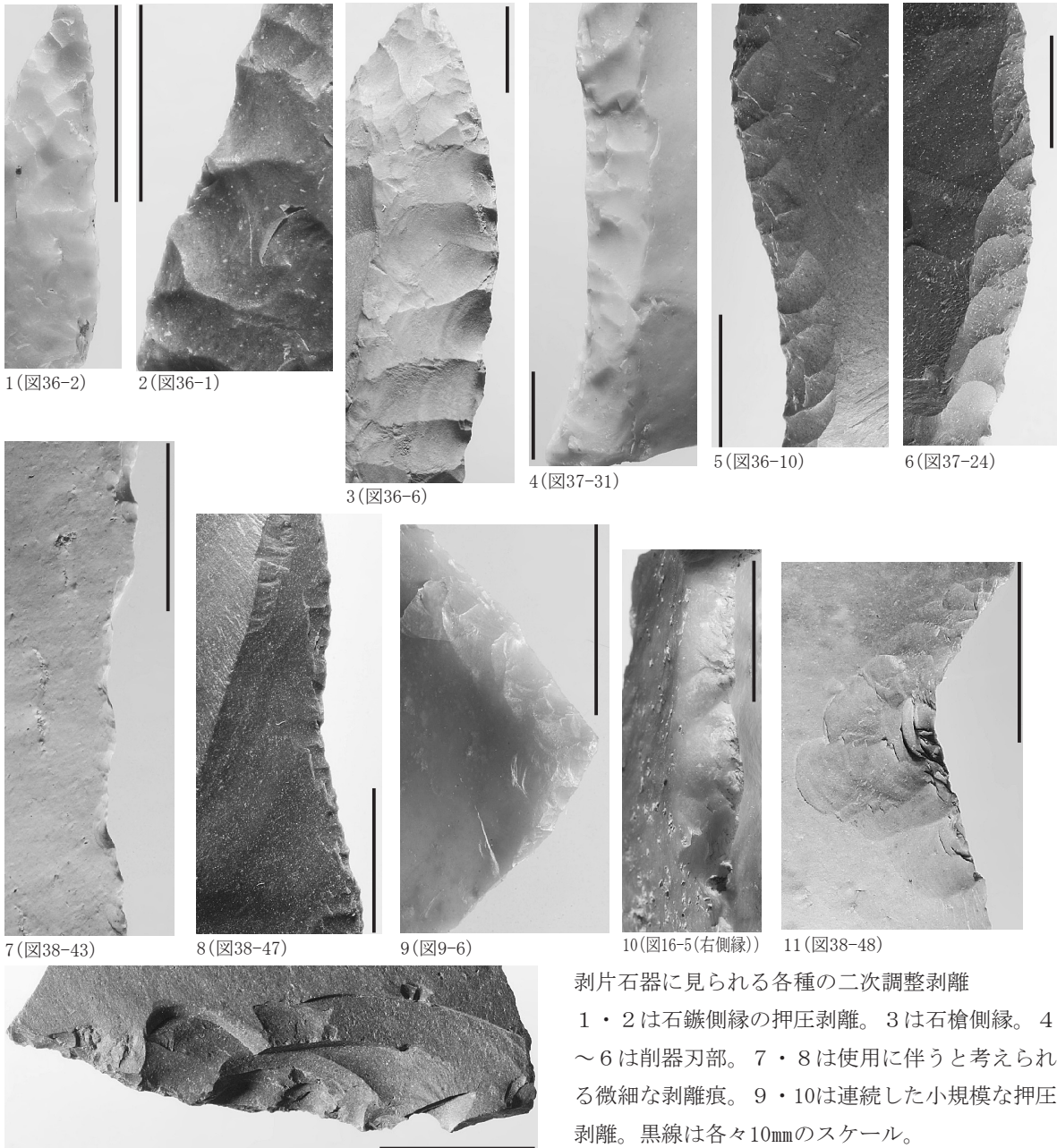


図69-22曲物内面の写真（写真左：破損した部分には縦位に差し込まれた板材が見える。また、炭塗りとケガキも見られる。写真右：榫止めの状況。



1(図36-2)

2(図36-1)

3(図36-6)

4(図37-31)

5(図36-10)

6(図37-24)

7(図38-43)

8(図38-47)

9(図9-6)

10(図16-5(右側縁))

11(図38-48)

12(図39-51)

剥片石器に見られる各種の二次調整剥離
 1・2は石鏃側縁の押圧剥離。3は石槍側縁。4
 ～6は削器刃部。7・8は使用に伴うと考えら
 れる微細な剥離痕。9・10は連続した小規模な押圧
 剥離。黒線は各々10mmのスケール。

報告書抄録

ふりがな	よねやまかっこにいせきご							
書名	米山(2)遺跡V							
副書名	青森県新総合運動公園建設事業に伴う発掘調査報告							
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第456集							
編著者名	大湯卓二 中嶋友文 茅野嘉雄 岩田安之							
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒038-0042 青森県青森市新城字天田内152-15 TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702							
発行機関	青森県教育委員会							
発行年月日	西暦2008年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		旧日本測地系 (Tokyo Datum)		調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
よねやま いせき 米山(2)遺跡	あおもりし おおあざ 青森市大字 みやた あざよねやま 宮田字米山 130、他	02201	01277	40°	140°	20060420 ～ 20061025	6,500m ² 2,100m ²	青森県新総合運動公園 建設事業に伴う事前調 査
				50′	51′			
				24″	06″	20070423 ～ 20071109		
				日本測地系2000 (JGD2000)				
				北緯	東経			
				40°	140°			
				50′	50′			
				33″	53″			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
米山(2)遺跡	散布地	縄文時代前期末葉 ～晩期末葉	堅穴住居跡 1軒		円筒下層d2式土器、最花式 土器、牛ヶ沢式土器、蛭沢 式土器、十腰内I式土器、 十腰内5式土器、大洞B式 土器、大洞A'式土器		縄文時代後期後葉の集 落跡と遺物包含層を発見。 検出された土器群 は宮田・矢田地区では 初見。 縄文時代晩期末葉の土 器包含層を発見。	
	集落跡		堅穴住居跡 4軒 土坑 1基 土坑 4基	石鏃・石錐・石槍・石匙・ 搔器・削器・使用痕のある 剥片・剥片・凹み石・敲き 石・磨石・磨製石斧・石皿・ 石製品				
	集落跡 散布地	縄文時代時期不明 中世～近現代	堅穴遺構 6基 井戸跡 17基 カマド状遺構 57基 土坑(中世) 13基 土坑(時期不明) 33基 土坑墓 1基 火葬墓 3基 溝跡(中世) 8条 溝跡(近世以降) 15条 柱穴 507基 焼土遺構 6基 性格不明遺構 1基 炭化物集中遺構 4基	円盤状土製品・鐸形土製品・ 焼成粘土塊 舶載陶磁器(青磁・白磁) 国産陶磁器(瀬戸天目・珠 洲播鉢・甕)、木製品(漆 器椀・加工材)、鉄製品(刀・ 鏃・用途不明)、銅製品(鏡・ 銭貨) 炭化種子 近世陶磁器(肥前・唐津)、 近現代陶磁器	井戸枿の年輪年代から 3つの井戸跡に使用さ れた木材の伐採年代が 確定又は推定された。			
要約	縄文時代については従来の調査同様に、中期後葉と後期後葉期の居住域を発見した。特に後期後葉期については、遺跡内での南限と考えられる。その他後期前葉・晩期末葉の遺物包含層を発見した。中世については、堅穴遺構・井戸跡・カマド状遺構・火葬墓・土坑墓・土坑・溝跡・柱穴などの遺構を発見した。おおよそ13世紀～16世紀にわたる長い期間継続していた可能性が年代測定の結果として提示できた。カマド状遺構や井戸跡などを利用した作業場としての性格を持つ可能性がある。							

青森県埋蔵文化財発掘調査報告書 第456集

米山(2)遺跡Ⅴ

—県新総合運動公園建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—

発行年月日 2008年3月31日
発行 青森県教育委員会
〒030-8540 青森市新町二丁目3-1
編集 青森県埋蔵文化財調査センター
〒038-0042 青森市新城天田内152-15
TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702
印刷 株式会社 誠 工 社
〒030-0113 青森市第二間屋町三丁目3-18
TEL 017-729-1611 FAX 017-729-1188
